

演習Ⅱ

科目ナンバリング SEM-302
必修 2単位

中西 宏太

1. 授業の概要(ねらい)

ダイナミックに進む東南アジア・ASEANの経済発展と地域統合を捉え、各国の経済成長や歴史、政治分野の地域研究を基礎としながら、ASEAN諸国の経済・政治・社会の変容を包括的・学際的に理解することを目的とする。テーマとしては、政治経済の硬いものから、社会文化の柔らかいものまでを扱う。

講義授業では、各回ASEAN・東南アジアについてのテーマ別講義を30分程行い、それについてのディスカッションなどを45分ほど行う。また、発表授業では、タームペーパー作成のための中間発表を行い、調査研究と論文作成、ディスカッションの方法を実践的に学ぶ。

2. 授業の到達目標

ASEAN・東南アジア事情に詳しくなる。

自らの関心テーマを見つけ、調査、論文作成の方法を学ぶ(レポート型もしくは論文型)。
発表スキルの獲得とともに、他者の発表に対する建設的なコメントができるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

タームペーパー(レポート・A4で8-10枚程度):60%

中間発表、ディスカッション他:40%

4. 教科書・参考文献

参考文献

今井昭夫編集代表 『東南アジアを知るための50章』 明石書店

遠藤環・伊藤亜聖・大泉啓一郎・後藤健太 編 『現代アジア経済論』 有斐閣ブックス

石川幸一・朽木昭文、清水一史編著 『現代ASEAN経済論』 明石書店

黒柳米司・金子芳樹・吉野文雄編著(『ASEANを知るための50章』 明石書店

国際機関日本ASEANセンター 「ASEAN情報マップ」 国際機関日本ASEANセンター

5. 準備学修の内容

準備は特になく、講義や文献を参考にしながら、タームペーパーのための関心テーマを1ヶ月程度で見つけること。テーマは、東南アジア・ASEANにかかる経済、政治、社会、文化、歴史、産業など各自の関心事であれば何でも可。

6. その他履修上の注意事項

ゼミは毎回出席が原則。

7. 授業内容

- 【第1回】 前期タームペーパー総評、後期演習の概要説明
「タームペーパーの書き方(1)「Why, What, Howについて」
(以下、講義日程や内容はメンバーの関心等によって変更の可能性あり)
- 【第2回】 講義(1)とディスカッション(開発独裁と民主化)
「なぜタイではいつもクーデターが起こるのか」「なぜ経済格差と貧困がなくなるのか」
- 【第3回】 テーマ発表(1)「タームペーパーのテーマ候補について」
- 【第4回】 テーマ発表(2)「タームペーパーのテーマ候補について」
- 【第5回】 講義(2)とディスカッション(ポップカルチャー)
「なぜ、K-Popが流行っているのか」「日本のアニメ・漫画は流行っているのか」
「タームペーパーの書き方(2)「調査方法と構成について」
- 【第6回】 講義(3)とディスカッション(植民地化と国民国家建設、想像の共同体、ナショナリズム)
「なぜ、ASEANの公用語は英語なのか?」「ベトナム戦争はなぜ起こったのか?」
- 【第7回】 講義(4)とディスカッション(華僑、財閥・クローニー・新興企業)
「東南アジアの金持ちはどうやって稼いできたのか」「クラブ、エアアジアって儲かっているのか」「スタートアップって何?」
- 【第8回】 講義(5)とディスカッション(中所得国のワナ)
「なぜ、シンガポールは先進国になれたのに、タイはそうではないのか」「タイランド4.0って何?」
- 【第9回】 講義(6)とディスカッション(高齢化・格差・社会保障)
「アジアでも高齢化が進んできたって本当か?」「人口ボーナスって何?」
- 【第10回】 講義(7)とディスカッション(観光産業)
「どの世界遺産が一番良さそうか」「シンガポールのカジノは儲かっているのか」「アンコールワットに行ったことがあるか?」
「タームペーパーの書き方(3)「引用、フォーマットについて」
- 【第11回】 中間発表(1)タームペーパー概要発表
- 【第12回】 中間発表(2)タームペーパー概要発表
- 【第13回】 中間発表(3)タームペーパー概要発表
- 【第14回】 講義(8)とディスカッション(グローバリズム、リージョナリズムとASEAN)
「ASEANは米中貿易戦争とどう付き合っていくのか」「南シナ海問題って何?」「ロヒンギャって何?」「アジアコンセンサス?」
- 【第15回】 講義(9)と総括(多様性の中の統一)
「多様性の中の統一って何?」